



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「言葉より行動を」 “Talk Less, Do More”
スローガン	「今すぐやろう！」 “Do it Now”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia, One World”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 “To walk together, echoing each other”
スローガン	「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
中部部長主題	「“将来を見つめたワイズ活動！”を今やってみよう！」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたワイズライフを！」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club !”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句： わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物
なので。 コリントの信徒への手紙 3 章 1-18 節

2014年12月強調月間

PEMC - EYES

EはExtension（新クラブ設立）。YESは、新クラブ設立を支援する基金です。この献金で集められた資金の2/3は、集められたエリアに戻され、エリアの中で使われます。

河原正浩 EMC 事業主任（京都トップスクラブ）

☆☆☆12月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆11月例会報告☆☆☆
金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会 日時：12月18日(木)18:30~20:30 会場：金沢ニューグランドホテル 会費：4,000円(別途、500円程度のプレゼント用意) 準備：北ワイズ ***プログラム*** 司会：山本ワイズ(金沢) 開会・点鐘：清水会長(金沢) ワイズソング：一同 今月の聖句：司会者 ハッピーパーティ：清水会長(金沢)・澤瀬会長(犀川) 渋谷メット(23日、金沢) 北メット(3日、犀川)・竹中ワイズ(5日、犀川) 賛美のとき：司会者 メッセージ：井ノ川 勝 牧師 (日本基督教団金沢教会) 食前の感謝：澁谷ワイズ(金沢) — 会 食 — 親睦のとき：メネット会 ニコニコタイム：北ワイズ(犀川) YMCAの歌：一同 閉会点鐘：澤瀬会長(犀川)	[第一例会] 11月13日(木)19:00~21:00、金沢白鳥路ホテル、卓話「加賀友禅に魅せられて」鶴賀雄子氏(アム運輸株式会社顧問・ゆうび着付学院理事長)、参加者：野崎三四子・竹川祥恵・萬谷和世(ゲスト、加賀友禅大使)、北充子(ゲスト)、川村孝治・北肇夫・澤瀬諭・澤瀬紀子・竹中丈晴・平口哲夫・平口久美子・三谷信三、以上13名。 [第二例会] 11月27日(木)19:00~21:00、竹中チャペル、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。 金沢 YMCA 創立 20 周年記念事業準備委員会 12月9日(火)19:00から、金沢 YMCA 集会室。 今月の聖句について ワイズメンズクラブはクリスチャンだけの集まりではなく、キリスト教の布教活動を目的とした団体でもない。したがって、このような聖句を掲げると、非クリスチャンの会員に違和感を持たれるかもしれない。しかし、クラブ国際憲法第2条第1項に明記されているように「イエス・キリストの教えに基づき」活動する団体であるから、聖句に耳を傾けて活動の教訓とすることは理に適っている。(平口) 1月の当番 司会：竹中、準備：平口 例会に使用済み切手、アル缶、ワイズ用布製品をご持参下さい。

当クラブ	11月出席者	10月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	ワイズ 6名	100%	前月繰越切手 2,865g	前月累計 39,646円
広義会員 0名	メネット 2名		11月分切手 0g	11月 10,000円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 5名		切手 2,865g	
			現金 0円	
合計 6名	13名	100%		累計 49,646円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 11月第一例会参加記 ◆

平口 哲夫

11月13日(木)19:00～21:00、金沢白鳥路ホテルで開催された11月第一例会は、鶴賀雄子氏(アム運輸株式会社顧問・ゆうび着付学院理事長)に「加賀友禪に魅せられて」と題して卓話をしていただいた。3名の加賀友禪大使もゲスト参加してくださったので、いっぴく華やかな例会となった。

自己紹介のとき、「加賀友禪に魅せられてメットから買ってくれと言われやしないか心配」とか、「着る機会は少ないが、加賀友禪の着物は持っており、虫干しだけは毎年している」といった主旨の発言があり、笑いを誘った。

卓話は、講師ご自身の人生経験をふまえて進められ、ビデオを使用してなされた加賀友禪についての解説や、加賀友禪を一般に広めていくための活動の紹介は、まことに感銘深いものがあった。



◆ 金沢YMCA “わいわい農園体験” ～秋のサトイモなど収穫作業～

地域奉仕・環境事業委員長 北 肇夫

4月に植え付けたサトイモ、6月に播種した落花生、8月に播種した源助ダイコン・カブなどの収穫期を迎えたので、11月20日(木)に収穫作業を実施した。当日は、この時季にしては温暖かつ好天続きで、良好なコンディションのもと、順調に収穫作業を進めることができた。

サトイモや源助ダイコンは、期待以上に良い状態で収穫することができた。サトイモは、屋内で乾燥のうえ、ヒゲ根や形状を整えて配布した。ダイコンは、虫食いも少なく葉も肉質も良好だった。

落花生は、一部、獣類(?)により荒らされた形跡があり、収穫量は少なかったが、ほぼ良好な実りであった。土壌が落花生に向けた砂質ではなく粘質のため、収穫後の洗浄がしにくく、カビが生えないように乾燥することや莢はずしなどの点で苦労が多かった。

収穫期には会員や学童たちとの交流も期待したが、この点では不十分だったので、どのように皆さんに楽しんでいただくかが、今後、この事業を続けてゆくうえでの課題ではないかと思う。



◆ 中部評議会・名古屋YMCA 大会報告 ◆

会長 澤瀬 論

11月29日(土)名古屋通信ビルで11時から第2回中部評議会が開催され、平口直前部長と澤瀬が出席した。各事業委員会の報告と、大西中部部長提案の中部EMC200推進に関する2件の議案審議が行われた。引き続き、昼食をとりながらの中部EMC200推進委員会となり、その席で名古屋プラザの今期限りのクラブ解散が報告されたことに変化衝撃を受けた。午後2時からの第1回名古屋YMCA大会及びYYフォーラムにも参加し、午後5時すぎ帰路についた。



(第2回中部評議会)



(第1回名古屋YMCA大会・YYフォーラム)

◆ “ご縁”と“摂理”(8) ◆

平口 哲夫

クシュナーのヨブ記分析では、ヨブ記を構成する三つの命題を①「神は全能であり、世界で生じるすべての出来事は神の意志による。神の意志に反しては、なにごともしこりえない。」、②「神は正義であり公平であって、人間それぞれにふさわしいものを与える。したがって、善き人は栄え、悪しきものは罰せられる。」、③「ヨブは正しい人である。」という三つの命題に集約し、論を進めています。ヨブが幸福な生活を送っているかぎり、この三つの命題は矛盾なく成立するが、ヨブに艱難が襲った時、この三つの命題のうちのどれか一つを否定しないと、他の二つは成り立ちません。ヨブ記の記者は、②と③を信じているので、その結果、①を放棄している、とクシュナーは述べています。つまりクシュナーは、「この世では正しい人にも不幸が降りかかるが、それは神の意志ではない」と考えるのです。(つづく)